

敵潛出現ノ 兆アル場合	セキンハ
敵潛ヲ発見 セル場合	セキンクケ
	クセキンハ

(終)

敵機状況	配備	要テ場合
	對空警戒	場合
敵機來襲	場合	クケハ
敵攻要機ノ未襲	場合	クキンヒケハ
敵攻要機ヲ発見	セル場合	クキンハ

五 愛波哨戒配備標準

四當直法  
 四當直割ハ別令ス  
 四探知當直ハ現探信當直ノ次直トス  
 五本項ニ於テ晝間ハ日出三十分前ヨリ日没三十分後迄  
 夜間ハ日没時ヨリ日出時迄ヲ謂フ

2-1810

233

機密第一遊撃部隊命令作第二號

昭和二十年三月二十六日

第一遊撃部隊指揮官 伊藤整一

第一遊撃部隊命令

第一遊撃部隊天一號作戰通信要領ヲ別冊ノ  
通定ム

(終)

一般 電話 一 一ツハ	警報 通信 三 一ツハ	種別 配 備	四 面 交 渉	電 波 の 長 短	電 波 の 種 類	電 波 の 使 用 法	電 波 の 使 用 場 所	電 波 の 使 用 時 間	電 波 の 使 用 機 器	電 波 の 使 用 方 法	電 波 の 使 用 注 意 事 項
ノコ一	ノコ一			長波	短波	超短波	近距離	超短波	無線機		
				五ノ三	三ノ三	三ノ三					

艦隊内通信

事記

一 特令ニ依リ各艦配員  
 二 但シ長波通達圖ヲ分離行動中ノ  
 艦船令ナシニハ電波ニ配員ス  
 三 重要作戦通信ニ使用ス  
 四 水上部隊晝(夜)戦ニ於ケル重要  
 通信ハ一般短波ト併用ス  
 五 補用中波ハ二式又ハ二式中五號ニ依ル  
 六 出撃後各艦配員  
 七 無線通信規程  
 八 無線通信規程  
 九 無線通信規程  
 十 無線通信規程  
 十一 無線通信規程  
 十二 無線通信規程  
 十三 無線通信規程  
 十四 無線通信規程  
 十五 無線通信規程  
 十六 無線通信規程  
 十七 無線通信規程  
 十八 無線通信規程  
 十九 無線通信規程  
 二十 無線通信規程  
 二十一 無線通信規程  
 二十二 無線通信規程  
 二十三 無線通信規程  
 二十四 無線通信規程  
 二十五 無線通信規程  
 二十六 無線通信規程  
 二十七 無線通信規程  
 二十八 無線通信規程  
 二十九 無線通信規程  
 三十 無線通信規程  
 三十一 無線通信規程  
 三十二 無線通信規程  
 三十三 無線通信規程  
 三十四 無線通信規程  
 三十五 無線通信規程  
 三十六 無線通信規程  
 三十七 無線通信規程  
 三十八 無線通信規程  
 三十九 無線通信規程  
 四十 無線通信規程  
 四十一 無線通信規程  
 四十二 無線通信規程  
 四十三 無線通信規程  
 四十四 無線通信規程  
 四十五 無線通信規程  
 四十六 無線通信規程  
 四十七 無線通信規程  
 四十八 無線通信規程  
 四十九 無線通信規程  
 五十 無線通信規程

機密第一遊撃部隊命令作第二號別冊  
 第一遊撃部隊天一號作戦通信ハ左ノ外聯合艦隊通信規程  
 第二遊撃部隊無線通信規程ニ依ル  
 一 一般方針  
 (一) 晝戦、夜戦、艦船通信ヲ第一義トシ特ニ戰術通信ノ速達ニ  
 留意ス  
 (二) 基地航空部隊ト協同ヲ特ニ重視ス  
 (三) 戰術場面ニ於ケル對敵通信(通信諜報、切信、為交信)ヲ  
 重視ス  
 (四) 應急通信ヲ適切ニ強靱ナル通信力ノ維持ニ努ム  
 (五) 通信防衛ヲ嚴シク企圖ノ秘匿ニ努ム  
 (六) 通信配備並ニ通信實施要領  
 (一) 艦船通信

應急通信	旗艦 (通信) 通話 ニ 三 ツ ハ
〇 ツ ハ	
	ノ コ 一
波短超	(用主話電)波中送
四二五〇 ス テ 四〇	補用 ニ 九 八 五 (モ モ モ)
特令ニ依リ配員ス	各艦待受 四水上部隊畫(夜)戰終テ「三ツハ」及「 四ツハ」并用ノ場合 望「ハ」ニ「三ツハ」ヲ主用「四ツハ」(超短波中 波ノ順)補用シ各「其他ハ」四ツハ(中波 ノ)ヲ主用「四ツハ」(超短波)「三ツハ」(中 波)ニ補用ス 各司令驅逐艦(單独驅逐艦ハ)ニ 三ツハヲ待受ルモトス

	三 ニ ツ ハ	
	ノ コ 一	
	波短	(波中送)
	二 一 〇 (分 三 五)	四 一 〇 五 (カ ニ 五)
特令ニ依リ使用ス ニ會敵後(層化艦及大型機ヲ除ク) 令ナクシテ配員ス	水上部隊畫及戰ニ於テ重要通 信ニ主用ス	各艦常時配員 長波圏外(ニ)深シクヲ分離行動スル艦 船通信ハ通信隊經由ニ依ル 直ニ急ヲ要スル場合ハ本電波ニ依リ直 接通信ス

東通 第三放送	東通 第二放送	東通 第一放送	航空機通信	基地航空部隊	佐鎮部隊通信系	第一第六特定通信系	第一第六特定通信系	第一第六特定通信系	第一第六特定通信系
P/YB 常時各艦(隊)適宜	所要時各艦待受	各艦常時待受	各艦隊指揮官所定	P/YB 所要時待受	P/YB 常時待受	P/YB 常時待受	P/YB 常時待受	P/YB 常時待受	P/YB 及一般待受標準

(4) 他部隊通信待受標準

但各艦の所要に應じ直接通信ス

(3) 右以外一般通信ハ艦所通信系若ハ共用艦船短波及甲種艦船一般短波(状況ヨリ甲種艦船旗艦短波併用)

(2) 對 P/YB 通信ハ第六特定通信系第一(第二)基地通信系甲種艦船一般短波ヨリ直接通信ス

(1) 對 P/YB 通信ハ第一第六特定通信系ニ加入ス

(土) 部隊外通信

備考	補用電波ノ使用ハ特令ス
四二ツハ	短波
ソコ	四七五五ニ特令ニ依リ使用ス
波	五七五ニ状況ニ依リ晝夜間併用ス

三對敵通信

(1) 通信諜報

(一) 通信諜報ハヨ主トシテ之ニ仕シ出撃手迄ハ一般情報ノ獲得出撃手後ハ右ノ外敵潜水艦哨戒機ノ動靜敵機動部隊迄ニ攻畧部隊ノ所在企圖動靜判知ニ努ム

(二) 各隊(艦)ハ自衛上必要ナル通信諜報ニ努メ敵信ヲ捕捉セハ速ニ之ヲ報告スルト共ニ妙信準備ヲ完成シ置フモトス

(2) 通信攻撃

(一) 通信攻撃手ハ妙信ヲ主トシ情況ヨリ偽交信(偽電)ヲ實施ス

(二) 妙信ハヨ指導特令ヨリ各戰隊旗艦ヲシテ實施セラルトス

(三) 偽交信(偽電)ハヨ之ヲ實施ス

(四) 各隊(艦)ハ情況時ニ有効ニシテ且取急ヲ要スト認メタル場

(三) 無線歸航ハポテラ主用ス

(2) 航空機通信

(一) 甲種六八〇(ヘコ)六五(補用七五〇)ヨリ四三(索敵偵察觸接用)

但シ特令シ夜間ハ該中波三四〇(クヨ)六五(補用三八七五)ヲ使用スルコトアリ

甲種 三六七(イミニ)ヲ指導用

左通放送	P/YB 常時待受 各隊(艦)指揮官所定
呉通放送	
高通放送	
三一通放送	
四通放送	P/YE 特令ニ依ル
大奏通放送	
空護衛関係通信系	

合ハ独断之ヲ實施スル事ヲ得此場合速ニ報告ヲ要ス

(二) 指導連絡通信系ヲ「ソハト」ス

四 應急通信 別紙第一

五 地矣表示法

(一) 一般戦斗

「サケニ」

(四) 夜戦

(一) 航空機

第二地矣表示法

(二) 艦船

第四地矣表示法

(三) 基地

特令

六 暗號書 現用

七 通信防衛

三種電波管制

(終)

機密第一遊撃部隊命令作第二號別冊紙第一

天一號作戰中第一遊撃部隊旗艦通信不能トナル場合

應急通信實施要領左ノ通定ム

一 通信代行艦船ニ代行順序

二 特定通信畧語

本畧語ハ信號及無線(電信及電話)ニ使用ス

信

文

略語(隱語)

本艦ノ通信代行音送信電波

ソノソノ句点

連絡電波

(四七ヤ)

本艦受信不能電波

子子子子

信號中繼セヨ

(四七エ)

本艦ノ通信代行音送信電波	ソノソノ句点
連絡電波	(四七ヤ)
本艦受信不能電波	子子子子
信號中繼セヨ	(四七エ)

備考	
一	周波数若ハ電波番號ヲ示ス
二	電波ヲ附セザル場合ハ送(受)信全部ヲ示ス
三	連絡電波ヲ附セザル場合ハ第三項所定電波ニ依ルモノトス

- 三 且ヨB及代行艦間ノ連絡通信(特令ナキ場合)
- (1) 無線通信
- (2) 無線通信不能ノ場合 視覚通信
- (3) 送信(話)代行艦ハヨBノ呼出符號(話)ヲ使用ス

(終)

宣本

機密第一遊撃部隊命令作第三號  
昭和二十年四月六日 旗艦大和

第一遊撃部隊指揮官 伊藤整一

區	主隊		分	指揮官	兵	力	主要任務
	警戒隊	前掃湯隊					
備	ヨ B		△	△	31S	2sd	輸送船團撃滅
備	ヨ B		△	△	31S (dx)	2sd (天矧 dx)	敵隊ノ對潛對

1950



(終)

機密第一遊撃部隊命令作第三號  
昭和二十年四月六日 旗艦大和

第一遊撃部隊指揮官 伊藤整一

第一遊撃部隊命令

第一遊撃部隊ハ聯合艦隊電令作第六。七號ニ基キ海上特攻隊トシテ友軍航空部隊及沖繩方面所在部隊ト協力シヨ日(四月八日)黎明時沖繩西方海面ニ突入敵水上艦艇ニ

輸送船團ヲ攻撃撃滅セントス

之ガ爲執ルベキ作戰ハ左ノ外第一遊撃部隊

天一號作戰要領ニ依ル

一軍隊區分

一軍隊區分

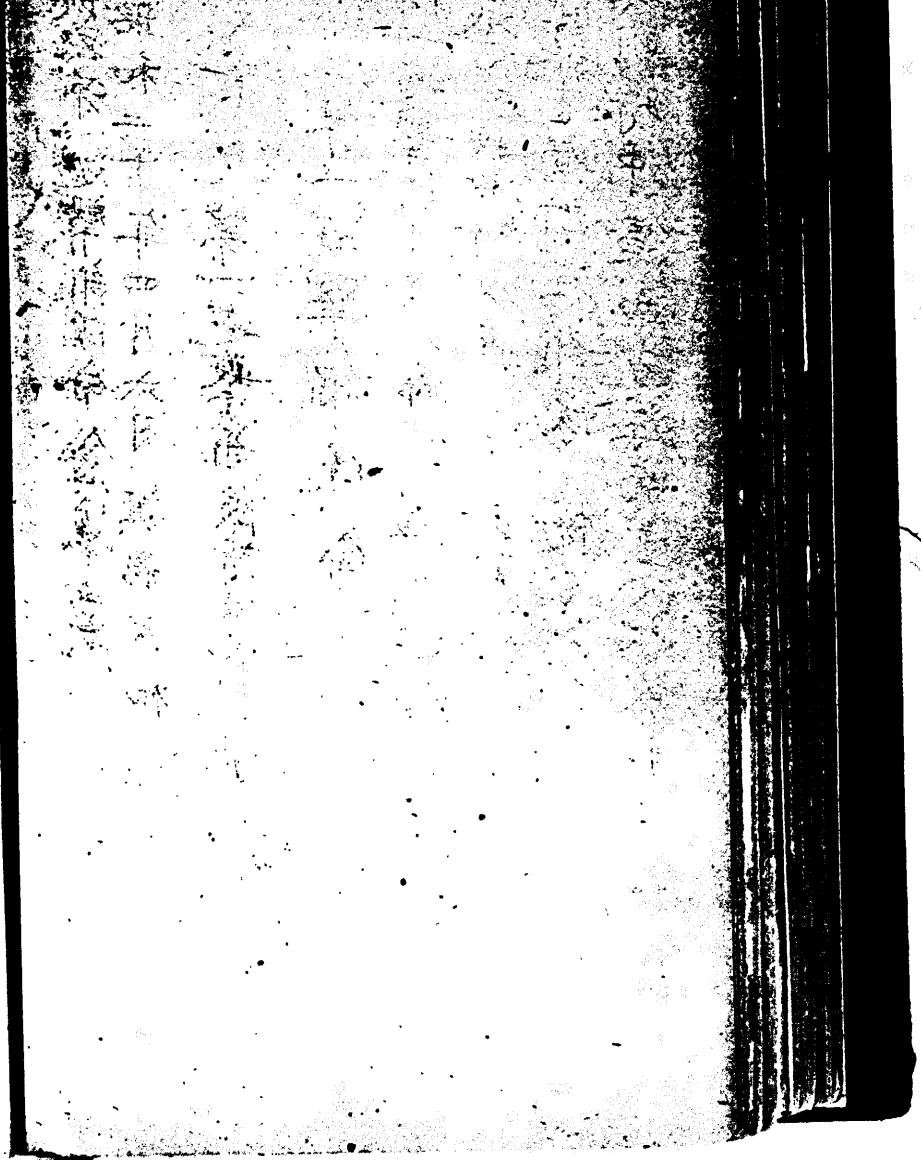
區分	主隊		指揮官	兵力	和力	主要任務
	警戒隊	前着掃蕩隊				
1	31S	31S(dx)	31S	2sd	2sd(天制dx)	輸送船團撃滅
Y	31S	31S(dx)	31S	2sd	2sd(天制dx)	輸送船團撃滅
B	31S	31S(dx)	31S	2sd	2sd(天制dx)	輸送船團撃滅

備考 特令アル迄本軍隊區分トス

進撃手接敵要領  
 第一遊撃隊ハ、  
 又日夜間大隅海峡ヲ通過シ南西諸島列  
 島線西方ヲ迂回進撃ヨリ。四。沖繩島  
 西方海面ニ突入ス

備考 本軍隊區分ハ敵水上部隊ト晝夜戦ヲ豫 期スル場合ニ適用ス	YB		區分指揮官
	第二部隊 (21g)	第一部隊 (11g)	
	A 2sd	P 2F	兵力
	2sd (-41dg)	大和 41dg	主要任務 敵水上艦艇ヲ 輸送船團ヲ 撃滅

第一軍隊區分



前路掃蕩隊ハ大隅海峡通過後令  
ニ依リ解列内海西部ニ散投ス  
大隅海峡通過迄ハ主トシテ對潛警戒  
戒ヲ爾後對潛對空警戒ヲ嚴ニス

(四) 水上偵察機

(一) 司令部水偵ハ2月1日佐伯指  
宿ヲ基地トシテ艦隊ノ對潛警戒ヲ

實施ス

(二) 天別水偵ハ1日令ニ依リ發艦主ト  
シテ沖繩島西方海面ノ偵察ヲ實施ス

三 戰鬪要領

晝夜戰ヲ問ズ全軍結束急速敵ニ  
肉迫必死必殺特攻攻撃ヲ本旨トシ戰  
鬪要領ハ第一遊撃部隊戰策ニ依

四 進撃航路

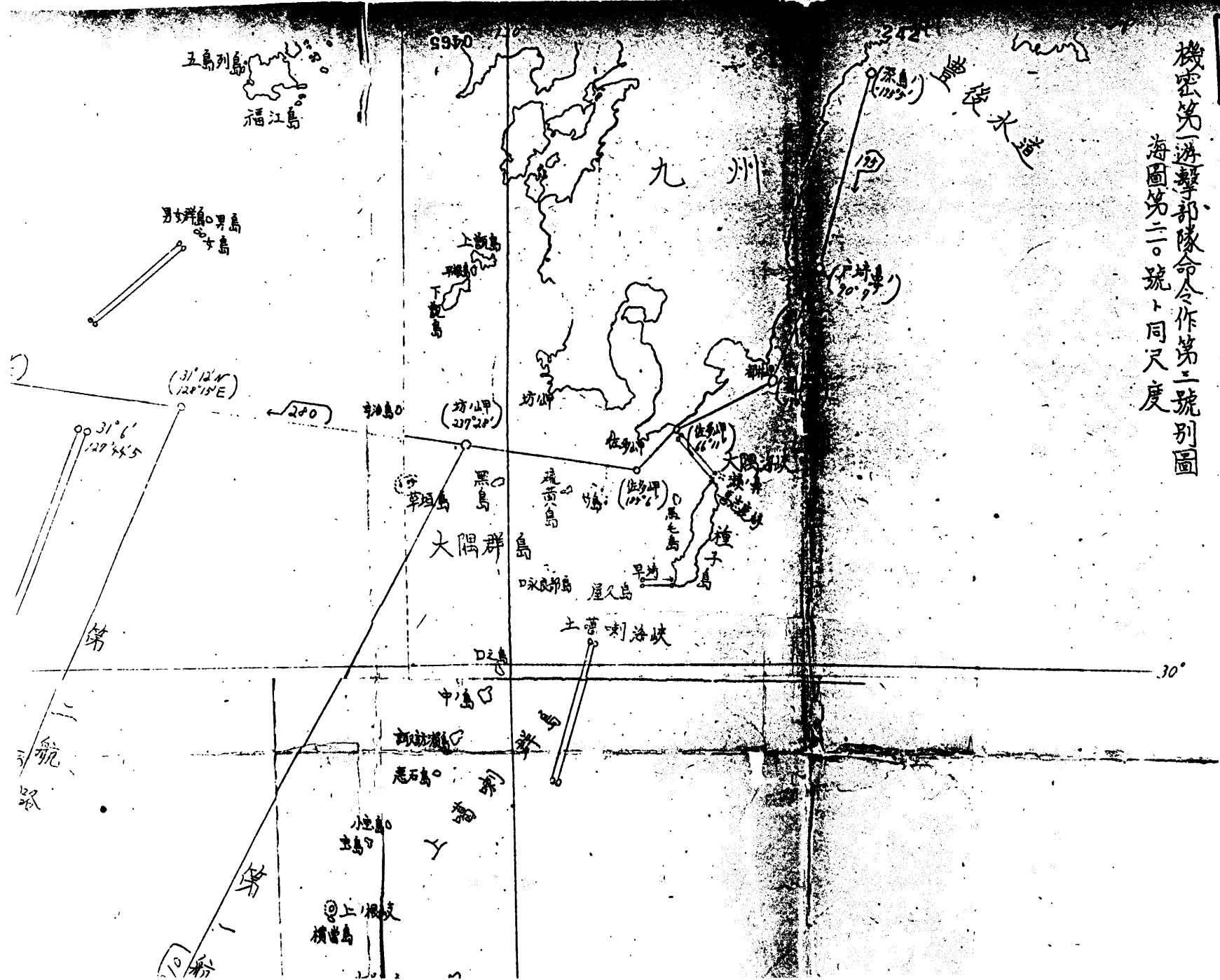
別圖ノ通豫定ス

特令ニ依リ第二航路トス

(終)

軍機

機密第一遊撃部隊命令作第三號別圖  
海圖第二。號。同尺度



0466

0465

五島列島  
福江島

男島  
女島

上島  
下島

(31°23'N  
129°1'E)

(31°12'N  
129°15'E)

(31°22'N  
129°28'E)

31°4'  
129°44.5'

225  
航路

280

(30°4'N  
129°31'E)

30°

大隅群  
黒島  
草島

第

D21

中島

西島

志島

小島  
土島

上根  
横島

0467

150

航路

10  
航路

